

サガン鳥栖

パブリックビューイングを開催！

3月9日、JR多久駅北側駐車場でサガン鳥栖対湘南ベルマーレのパブリックビューイングを開催しました。

今回の開催は、多久駅前に建設予定の多世代にわたる交流施設（中核施設）で交流事業を開催する際の課題等を分析するため、社会実験として開催したものです。

多久市で初めてとなるパブリックビューイングは、市内外から700人を超えるサポーターが集まり、湘南ベルマーレの本拠地で戦うサガン鳥栖の選手に声援を送りました。

結果は湘南ベルマーレと1-1の引き分けとなりましたが、サガン鳥栖の同点ゴールの場面では総立ちになって、みんなでハイタッチを交わすなど、会場が一体となって盛り上がりしました。



▲サガン鳥栖選手に声援を送るサポーターのみなさん

多久市文化連盟 文化功労者表彰

多久市文化連盟（会長 吉浦啓一郎）による平成24年度の文化功労者表彰式が3月9日に多久シティホテル松屋で行われました。



受賞者は次の方々です。（敬称略）

芸術文化功労賞

森山 孝（文芸協会・あざみ句会）
高山クニエ（日本舞踊連合会・藤和会）
西山 徳（囲碁将棋連盟・囲碁）

芸術文化賞

牧瀬 文子・川原 満子
森 洋子（音楽協会・佐賀豊明会）
太田ケサノ（音楽協会・佐賀竹聖会）
岸川 禮子（音楽協会・コーラスいずみ）

芸術文化奨励賞

栗原眞一郎（美術協会・絵画）
徳安 秀作（音楽協会・佐賀豊明会）
尾形 弘美（華道会・小原流）

市長コラム

温故創新

Message for citizen

「教育元年」～小中一貫教育スタート

市長 横尾俊彦

3月の卒業式では、真剣な瞳で未来をみつめる子どもたちの笑顔が光りました。さわやかな希望の風を受けて大きく羽ばたいてほしいと願い、ひとりひとりにテレパシーを贈りました。本当にそんな気持ちで、参列し、祝意を表しました。

古来より「国家百年の計は人材育成にあり」と言われます。それは時空を超えた人類の英知でもあります。まさに人づくりこそが未来をつくる基本であり、未来創造そのものといえます。

そもそも、人は生まれてきて、それぞれに個性と可能性をもち、才能を与えられています。自分では気づかない能力も眠っています。それらは自己研鑽でわかるようになり、そのオンラインワンの才能を発揮して活躍するとき、人は誰もが、身も心も快適に感じ、疲れを知らぬ働きもします。そんな真理を支えとして進みたいと思います。

さらには、将来、子どもたちが活躍する時に、「君は地方の田舎から来たのか」などと軽んじられたり、言われたりしないよう、どこにも負けぬ教育環境を整えたいと強く思います。だからこそ、これまで教育環境を整備してきました。全学級教室への電子黒板整備もその一環です。教職の先生方とともに、これからさらに教育充実を進めます。

それらの熱意を込め、4月から小中一貫教育がスタートします。通学スクールバスでの安全確保、一層の教育内容充実、知徳体のバランスある教育向上など、未来へ向けて取組みも推進します。子どもたちのため、お力添えをお願いします。